

文書管理システム
連携インターフェース説明書

平成 26 年 3 月 17 日

富士電機株式会社

目 次

1. 本書の目的.....	1
2. システム連携内容.....	1
2. 1 連携方式.....	1
2. 2 文書管理システムで公開する API.....	2
2. 2. 1 API 一覧.....	2
2. 3 API 利用の確認事項.....	3
2. 3. 2 利用イメージ.....	4
2. 4 API 共通.....	5
2. 4. 1 API 共通.....	5
2. 5 API 個別.....	7
2. 5. 1 受付登録 API.....	7
2. 5. 2 番号取得 API.....	8
2. 5. 3 起案登録 API.....	10
2. 5. 4 ステータス取得 API.....	12
2. 5. 5 施行文書取得 API.....	14
2. 5. 6 施行文書受領確認 API.....	16
2. 5. 7 保存登録 API.....	17
2. 5. 8 審査結果登録 API.....	18
2. 5. 9 受付・文書番号編集 API.....	19

1. 本書の目的

業務システムと文書管理システムが連携するためには、文書管理システム側が提供するアプリケーションインターフェース（以下「API」という。）に対応した業務システムの改修を行うことが必要となる。

本書は、この改修内容の検討に資するため、文書管理システム側が提供するAPIの情報を提示するものである。

2. システム連携内容

2. 1 連携方式

APIはSOAPを利用したWebサービスとして提供する。文書管理システムと業務システム間は、SOAPメッセージをネットワーク経由で送受信することにより通信する。通信の流れを以下に示す。

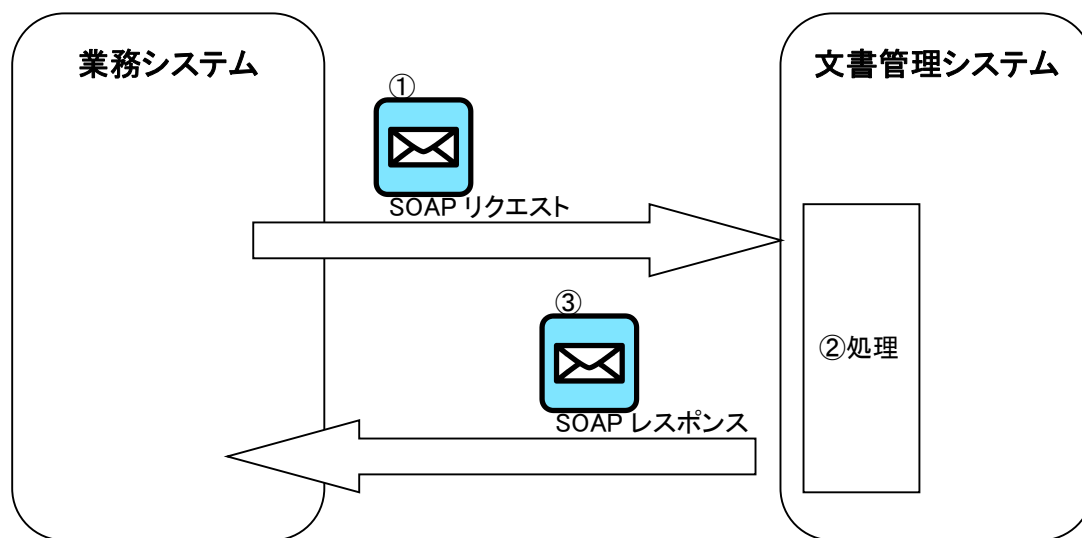


図 2. 1-1 APIの通信方式

- ① 業務システムは、リクエストのSOAPメッセージを送信する。
- ② リクエストを受信した文書管理システムはSOAPメッセージを解析し、要求された処理を行う。
- ③ 文書管理システムは、APIの実行結果を含むレスポンスのSOAPメッセージを返信する。

2. 2 文書管理システムで公開する API

2. 2. 1 API 一覧

文書管理システムで公開する API 機能一覧と連携イメージを以下に示す。

表 2. 2-1 API 一覧

No.	API 名称	概要
①	受付登録	新たな文書を受け付ける
②	番号取得	文書番号を発行する
③	審査結果登録	審査結果を受け付ける。
④	起案登録	起案文書を受け付ける
⑤	ステータス取得	文書の現時点のステータスを返却する
⑥	施行文書取得	指定された施行文書の情報を返却する(施行文書取得時は⑦にて確認通知が必要)
⑦	施行文書受領確認	⑥の受領結果を受け付ける(⑥を使用する場合は必須)
⑧	保存登録	文書の保存を受け付ける

2. 3 API利用の確認事項

(1) 利用するための環境の確認

業務システムが文書管理システムと接続されているネットワーク上にあることを確認する。

(2) 利用するAPIの選定

業務システムで文書管理システムと連携するために必要なAPIを選定する。

(3) APIを利用するための機能の整備

業務システムで文書管理システムのAPIを利用するための機能を検討し、整備する。

(4) APIを利用時のデータ容量

業務システムが送信するデータに添付ファイルデータが含まれる場合、添付ファイルの総容量は、最大で100MB以内(*1)とする。

(*1) 添付ファイルの総容量は、添付するファイルの個数、サイズにより制約がある。

- ①ひとつの添付ファイルのサイズは最大40MBとする。
- ②複数の添付ファイルを送信する場合、複数の添付ファイルの中で最大サイズが、30MBを超える添付ファイルの場合は、添付ファイルの総容量は80MBまでとする。
- ③複数の添付ファイルを送信する場合、複数の添付ファイルの中で最大サイズが、20MBを超える添付ファイルの場合は、添付ファイルの総容量は90MBまでとする。
- ④複数の添付ファイルを送信する場合、複数の添付ファイルの中で最大サイズが、20MB以内の添付ファイルの場合は、添付ファイルの総容量は100MBまでとする。

(5) API利用時の制約事項

業務システムとの連携データ件数、連携頻度など、文書管理システムのハードウェア資源に係る制約事項などについて、別途、協議する。

2. 3. 2 利用イメージ

(1) 電子申請システムにおける利用例

電子申請システムで文書管理システムと連携するための API として、「受付登録」「ステータス取得」「施行文書取得・施行文書受領確認」「保存登録」を選定した場合、以下のような利用イメージとなる。

- ・ 電子申請システムは、電子申請された案件の申請書類等を、「受付登録」API を使い、文書管理システムに渡す。文書管理システムでは、担当者の操作を通じて、取得した文書の受付登録処理を行った後、起案処理を行う。
- ・ 文書管理システムは、承認・決裁者の操作を通じて、電子申請システムから受領した文書の電子決裁を行う。
- ・ 電子申請システムは、「ステータス取得」API を利用して処理状況の情報を取得する。
- ・ 電子申請システムは通知文等が施行可能な状態か否かを「ステータス取得」API を利用して確認し、担当者の操作を通じて施行可能な状態となった通知文書等の施行文書を「施行文書取得・施行文書受領確認」API を利用して取得する。
- ・ 電子申請システムは取得した通知文書等を申請者に送付し、通知後、「保存登録」API を利用して、申請者に送付した施行文書等を文書管理システムに渡す。文書管理システムは、受け取った施行文書等を保存管理する。

2. 4 API 共通

2. 4. 1 API 共通

(1) SOAP による API 提供について

SOAP による API の共通仕様を以下に示す。

- ・ API 機能は、SOAP1.1(Simple Object Access Protocol)で提供する。
- ・ 添付ファイルは SOAP Message with Attachment(SwA)に準拠した MIME 形式、または SOAP メッセージ中のバイト配列形式で送受信する。
- ・ API を利用する業務システム単位で、BASIC 認証を行い、アクセス制御を実施する。
- ・ SOAP メッセージは、HTTPS で送受信する。
- ・ SOAP で利用する文字コードは、UTF-8 とする。
- ・ SOAP メッセージで使用できる文字は以下とする。
 - ① 半角英数字文字
 - ② 全角英数字文字
 - ③ ひらがな
 - ④ 全角カタカナ
 - ⑤ ギリシャ文字
 - ⑥ J I S 第一水準漢字
 - ⑦ J I S 第二水準漢字

(2) XML のタグ構造

XML タグの構成の詳細については、別途 WSDL を提示する。

なお、業務システム側が文書管理システムとの連携に際し、java を採用している場合と java 以外を採用している場合を考慮し、WSDL は java 版と java 以外版の 2 種類を用意している。

(3) 組織・職員等のデータ項目

連携データ内の組織・職員等データ項目について、団体で提供されるコードを使用する。

(4) 各コード（組織・職員等以外）等の割付について

業務システムコード、文書ステータスを示すコード、エラーコード等について、WSDL 提示時に別途提示する。

(5) 連携データの識別

文書管理システムにおいて、連携データを一意に識別するために、業務システムから連携要求を一意に決定するデータ ID を付与する。

文書管理システムからは、文書管理システムに取り込まれた連携データを一意に識別するための文書 No を返却する。業務システムでステータス取得等を行う場合に当

該データの文書 No を保持しておき、ステータス取得時等に、API パラメータに当該文書 No を設定し、取得要求する。

(6) 連携データの書誌情報

文書管理システムで管理する書誌情報について、連携データ項目にない書誌情報は、運用開始後、文書管理システムで個別に登録する。

(7) レスポンス無応答時のリトライ間隔

レスポンス無応答時は 300 秒を目安として業務システムからリトライをすることができる。ただし、送信データ量や、ネットワーク環境、処理の集中度等、利用状況により応答時間が異なるため、リトライ間隔の調整が必要となる場合がある。

2. 5 API 個別

2. 5. 1 受付登録 API

本 API は、業務システムから文書を受け付ける API である。登録処理後、採番した文書 No を返却する。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-1 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明		
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード		
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード		
3	受付情報データ						
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
	1	データ ID	文字列	○	40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報 先方の文書番号	
	2	備考	文字列		40 (20 文字)	未使用	
	3	発信者	文字列	○	120 (60 文字)	受付文書の発信者名	
	4	相手先施行日	日付	○	-	相手先が施行した日	
	5	別送フラグ	数値	○	1	別送有無フラグ (0: 別送なし、1: 別送あり)	
	6	添付ファイルデータ ※繰返し項目(最大:99) (添付ファイルデータ自体は必須ではないが、添付ファイルを使用する場合以下の項目は全て必須)					
		No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
		1	ファイルデータ	バイト配列 もしくは 文字列	○	-	ファイルデータ実体もしくは SwA の href 文(2 重エンコードしないこと)
		2	ファイル ID	数値	○	3	電文内で一意な値
		3	ファイル区分コード	数値	○	2	=10
		4	ファイル名	文字列	○	128 (64 文字)	ファイル名称
		5	ファイルサイズ	数値	○	-	ファイルサイズ
	7	受信日時	日付	○	-	受信した日時	
	8	件名	文字列	○	180 (90 文字)	受付の件名	
	9	作成年度	数値	○	4	受付データの管理年度(西暦)	
	10	受付課コード	文字列	○	40	受付課コード	
	11	受付番号	文字列		60 (30 文字)	未使用 (事前に番号を取得している場合は、差し替え文書 No で判定)	
	12	差替えフラグ	数値	○	1	差替えの処理フラグ 新規追加(文書番号未取得):0 差替え:1 新規追加(文書番号取得済み):2 ※差替えは差戻し中の状態の場合のみ行える。	
	13	差替え文書 No	数値	△	10	差替える文書の文書 No(差替え時は必須) ※差し替え時は、既に文書管理システムに送信されている該当文書 No のデータに、新たに送信されたデータの添付ファイルが追加される(他の属性値は更新されない)	
-	以下、ファイルの実体(SwA の MIME_content)が続く						

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-2 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	処理結果	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	3	メッセージ	文字列	○	500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ

2. 5. 2 番号取得 API

本 API は、文書管理システムで管理している文書番号を新たに取得するための API である。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-3 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	番号依頼取得データ					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	データ ID	文字列	○	40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報
	2	発番基準日	日付	○	-	取得する番号の基準日
	3	発番課コード	文字列	○	40	発番する課の課コードを指定
	4	番号種別	数値	○	1	取得する番号の種別(受付番号/文書番号) 1: 受付番号 取得した番号を受付登録で使用 2: 受付番号 取得した番号を連携で使用しない 3: 文書番号 取得した番号を受付登録で使用 4: 文書番号 取得した番号を起案登録で使用 5: 文書番号 取得した番号を連携で使用しない 6: 文書番号 取得した番号を文書登録で使用
	5	番号文字 1	文字列		20 (10 文字)	発番する番号の文字部(例: 18 総総第)。完全一致の条件で発番する番号を指定。
	6	番号文字 2	文字列		20 (10 文字)	発番する番号の文字。発番体系が日々の場合に使用(年単位の場合に入っても使用しない)。

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-4 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	文書番号	文字列	○	60 (30 文字)	発番された受付番号または文書番号(決裁番号)
	3	処理結果	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	4	メッセージ	文字列	○	500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ

2. 5. 3 起案登録 API

本 API は、業務システムから起案文書を受け付ける API である。
登録処理後、採番した文書 No を返却する。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-5 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明		
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード		
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード		
3	起案情報データ						
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
	1	文書番号	文字列		60 (30 文字)	未使用 (事前に番号を取得している場合は、差し替え 文書 No で判定)	
	2	件名	文字列	○	180 (90 文字)	件名	
	3	添付ファイルデータ ※繰返し項目 (添付ファイルデータ自体は必須ではないが、添付ファイルを使用する場合以下の項目は全て必須)					
		No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
		1	ファイルデータ	バイト配列 もしくは 文字列	○	-	ファイルデータ実体もしくは SwA の href 文 (2 重エンコード しないこと)
		2	ファイル ID	数値	○	3	電文内で一意な値
		3	ファイル区分コード	数値	○	2	別紙: 20、別添(電子): 25、施 行文案: 50
		4	ファイル名	文字列	○	128 (64 文字)	ファイル名称
		5	ファイルサイズ	数値	○	10	ファイルサイズ
	4	決裁処理期限	日付		-		処理期限
	5	起案課コード	文字列	○	40		起案する職員が所属する課コード。
	6	起案日	日付	○	-		起案日
	7	起案職員コード	文字列		32		起案する職員の職員コード
	8	送付事項	文字列		964 (482 文字)		送付事項
	9	連絡先	文字列		30 (15 文字)		連絡先
	10	所属年度	数値		4		通常登録の場合は、未使用、 文書番号取得済みの場合は、使用する
	11	伺い文、決裁概要	文字列		4000 (2000 文 字)		伺い文、決裁概要
	12	備考	文字列		240 (120 文字)		未使用
	13	データ ID	文字列	○	40		業務システムからのリクエストを一意に決定する 情報
	14	更新フラグ	数値	○	1		添付ファイルの文書管理システム上での更新可 否を指定するフラグ(更新不可:0 更新可:1)
	15	差替えフラグ	数値	○	1		差替えの処理フラグ 新規追加(文書番号未取得):0 差替え:1 新規追加(文書番号取得済み):2 ※差替えは差戻し中の状態の場合のみ行える。
	16	差替え文書 No	数値	△	10		差替える文書の文書 No(差替え時は必須)
-	以下、ファイルの実体(SwA の MIME_content)が続く						

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-6 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	処理結果	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	3	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-8 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	ステータスデータ ※繰返し項目					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	受付番号	文字列		60 (30 文字)	受付番号
	3	受付番号枝番号	文字列		3	受付番号の枝番号
	4	文書番号	文字列		60 (30 文字)	文書番号(決裁番号)
	5	文書番号枝番号	文字列		3	文書番号の枝番号
	6	文書ステータス	数値	○	3	文書のステータス (受付前、受付済、ゴミ箱、起案中(一時保存)、決裁中、決裁済、紙決裁中、施行待ち、施行(送信中)、施行完了、完結、廃案、差戻し中 など)
	7	処理結果 (文書 No 単位)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	8	メッセージ	文字列		500 (250 文 字)	エラー時の詳細メッセージ
	9	データ ID	文字列		40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報 リクエスト時の値を返却
処理結果						
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	処理結果 (API 全体)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	2	メッセージ	文字列		500 (250 文 字)	エラー時の詳細メッセージ

2. 5. 5 施行文書取得 API

本 API は、文書管理システムに登録した施行文書を返却する API である。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-9 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	施行文書取得データ					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	データ ID	文字列	○	40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報
	2	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-10 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明																																																																																																																																																						
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード																																																																																																																																																						
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード																																																																																																																																																						
3	施行データ ※繰返し項目																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目名</th> <th>データ型</th> <th>必須</th> <th>最大長</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文書 No</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>文書管理システムで管理する番号</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>文書番号</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>60 (30 文字)</td> <td>該当施行データの文書番号</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>枝番号</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>3</td> <td>該当施行データの枝番号</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>添付ファイルデータ ※繰返し項目 (添付ファイルデータ自体は必須ではないが、添付ファイルを使用する場合以下の項目は全て必須)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="6"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目名</th> <th>データ型</th> <th>必須</th> <th>最大長</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ファイルデータ</td> <td>バイト配列 もしくは 文字列</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ファイル ID</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>3</td> <td>電文内で一意な値</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ファイル区分コード</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>2</td> <td>=70</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ファイル名</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>128</td> <td>ファイル名称</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ファイルサイズ</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>ファイルサイズ</td> </tr> </tbody> </table> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>件名</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>180 (90 文字)</td> <td>施行データの件名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>起案課コード</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>40</td> <td>施行データの起案部署課 or 係コード</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>起案課名</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>500 (250 文字)</td> <td>施行データの起案部署名称</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>起案日</td> <td>日付</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>システム日付</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>決裁日</td> <td>日付</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>施行データの決裁日</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>決裁完了職員コード</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>32</td> <td>施行データの起案時の職員コード</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>決裁完了日</td> <td>日付</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>施行データの決裁完了日</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>施行日</td> <td>日付</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>施行データの施行日</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>施行 ID</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>文書管理システムにおいて施行データを一意に決定する ID</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>所属年度</td> <td>数値</td> <td></td> <td>4</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>処理結果 (文書 No.単位)</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>5</td> <td>処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>メッセージ</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>500 (250 文字)</td> <td>エラー時の詳細メッセージ</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>データ ID</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>40</td> <td>未使用</td> </tr> </tbody> </table>						No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する番号	2	文書番号	文字列		60 (30 文字)	該当施行データの文書番号	3	枝番号	文字列		3	該当施行データの枝番号	4	添付ファイルデータ ※繰返し項目 (添付ファイルデータ自体は必須ではないが、添付ファイルを使用する場合以下の項目は全て必須)					<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目名</th> <th>データ型</th> <th>必須</th> <th>最大長</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ファイルデータ</td> <td>バイト配列 もしくは 文字列</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ファイル ID</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>3</td> <td>電文内で一意な値</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ファイル区分コード</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>2</td> <td>=70</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ファイル名</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>128</td> <td>ファイル名称</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ファイルサイズ</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>ファイルサイズ</td> </tr> </tbody> </table>						No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	1	ファイルデータ	バイト配列 もしくは 文字列	○	-	ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)	2	ファイル ID	数値	○	3	電文内で一意な値	3	ファイル区分コード	数値	○	2	=70	4	ファイル名	文字列	○	128	ファイル名称	5	ファイルサイズ	数値	○	10	ファイルサイズ	5	件名	文字列	○	180 (90 文字)	施行データの件名	6	起案課コード	文字列	○	40	施行データの起案部署課 or 係コード	7	起案課名	文字列	○	500 (250 文字)	施行データの起案部署名称	8	起案日	日付	○	-	システム日付	9	決裁日	日付	○	-	施行データの決裁日	10	決裁完了職員コード	文字列		32	施行データの起案時の職員コード	11	決裁完了日	日付	○	-	施行データの決裁完了日	12	施行日	日付	○	-	施行データの施行日	13	施行 ID	数値	○	10	文書管理システムにおいて施行データを一意に決定する ID	14	所属年度	数値		4	未使用	15	処理結果 (文書 No.単位)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了	16	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ	17	データ ID	文字列		40	未使用
No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明																																																																																																																																																						
1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する番号																																																																																																																																																						
2	文書番号	文字列		60 (30 文字)	該当施行データの文書番号																																																																																																																																																						
3	枝番号	文字列		3	該当施行データの枝番号																																																																																																																																																						
4	添付ファイルデータ ※繰返し項目 (添付ファイルデータ自体は必須ではないが、添付ファイルを使用する場合以下の項目は全て必須)																																																																																																																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目名</th> <th>データ型</th> <th>必須</th> <th>最大長</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ファイルデータ</td> <td>バイト配列 もしくは 文字列</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ファイル ID</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>3</td> <td>電文内で一意な値</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ファイル区分コード</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>2</td> <td>=70</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ファイル名</td> <td>文字列</td> <td>○</td> <td>128</td> <td>ファイル名称</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ファイルサイズ</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>ファイルサイズ</td> </tr> </tbody> </table>						No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	1	ファイルデータ	バイト配列 もしくは 文字列	○	-	ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)	2	ファイル ID	数値	○	3	電文内で一意な値	3	ファイル区分コード	数値	○	2	=70	4	ファイル名	文字列	○	128	ファイル名称	5	ファイルサイズ	数値	○	10	ファイルサイズ																																																																																																																		
No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明																																																																																																																																																						
1	ファイルデータ	バイト配列 もしくは 文字列	○	-	ファイルデータ実体(2 重 エンコードしないこと)																																																																																																																																																						
2	ファイル ID	数値	○	3	電文内で一意な値																																																																																																																																																						
3	ファイル区分コード	数値	○	2	=70																																																																																																																																																						
4	ファイル名	文字列	○	128	ファイル名称																																																																																																																																																						
5	ファイルサイズ	数値	○	10	ファイルサイズ																																																																																																																																																						
5	件名	文字列	○	180 (90 文字)	施行データの件名																																																																																																																																																						
6	起案課コード	文字列	○	40	施行データの起案部署課 or 係コード																																																																																																																																																						
7	起案課名	文字列	○	500 (250 文字)	施行データの起案部署名称																																																																																																																																																						
8	起案日	日付	○	-	システム日付																																																																																																																																																						
9	決裁日	日付	○	-	施行データの決裁日																																																																																																																																																						
10	決裁完了職員コード	文字列		32	施行データの起案時の職員コード																																																																																																																																																						
11	決裁完了日	日付	○	-	施行データの決裁完了日																																																																																																																																																						
12	施行日	日付	○	-	施行データの施行日																																																																																																																																																						
13	施行 ID	数値	○	10	文書管理システムにおいて施行データを一意に決定する ID																																																																																																																																																						
14	所属年度	数値		4	未使用																																																																																																																																																						
15	処理結果 (文書 No.単位)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了																																																																																																																																																						
16	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ																																																																																																																																																						
17	データ ID	文字列		40	未使用																																																																																																																																																						
<p>処理結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目名</th> <th>データ型</th> <th>必須</th> <th>最大長</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>処理結果 (API全体)</td> <td>数値</td> <td>○</td> <td>5</td> <td>処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>メッセージ</td> <td>文字列</td> <td></td> <td>500 (250 文字)</td> <td>エラー時の詳細メッセージ</td> </tr> </tbody> </table>						No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	1	処理結果 (API全体)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了	2	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ																																																																																																																																				
No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明																																																																																																																																																						
1	処理結果 (API全体)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了																																																																																																																																																						
2	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ																																																																																																																																																						
-	以下、ファイルの実体(SwA の MIME_content)が続く																																																																																																																																																										

2. 5. 6 施行文書受領確認 API

本 API は、文書管理システムから取得した施行文書の受領確認を登録する API である。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-11 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	施行文書受領確認データ					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	データ ID	文字列		40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報
	2	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	3	施行 ID	数値	○	10	文書管理システムにおいて施行データを一意に決定する ID

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-12 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	処理結果	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	3	メッセージ	文字列	○	500 (250 文 字)	エラー時の詳細メッセージ

2. 5. 8 審査結果登録 API

本 API は、文書管理システムに審査結果を登録する API である。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-15 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	審査結果登録データ					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	データ ID	文字列	○	40	業務システムからのリクエストを一意に決定する情報
	2	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID (審査結果の登録先文書を特定する値)
	3	審査結果	文字列	○	240 (120 文字)	審査結果(備考欄に表記される) 最大長は画面入力済みの文字数と含めての合計数

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-16 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	文書 No	数値	○	10	文書管理システムで管理する ID
	2	処理結果	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	3	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ

2. 5. 9 受付・文書番号編集 API

本 API は、文書管理システムで管理している受付番号・文書番号の編集を行う API である。

(1) リクエスト

リクエストの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-19 SOAP リクエストの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード
3	番号記号データ ※繰返し項目(最大:100件)				
No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
1	シーケンス No	数値	○	3	文書番号情報内で一意となる値(文書側で保持は行わない)
2	番号種別	数値	○	1	番号記号の種別 1: 受付番号、2: 文書番号
3	更新時期	数値	○	1	番号記号の発番単位 1: 暦年、2: 年度、3: 日々
4	処理種別	数値	○	1	編集処理の種別 0: 追加、1: 更新、2: 削除
5	年度	数値	△	4	年度・暦年の場合は必須 マスタテーブルに存在する期間のみ
6	変更後年度	数値	△	4	変更後の年度 年度・暦年で更新を行う場合必須
7	使用開始日	日付	△	—	番号の使用開始日 追加・更新の場合必須
8	使用終了日	日付		—	番号の使用終了日
9	番号文字 1	文字列	△	20 (10文字)	番号文字 1 暦年・年度の場合必須 日々の場合、番号文字 1、2 のどちらか必須 暦年・年度 例: 番号①1 号の 1 日々 例: 番号①0208 番号②1号の 1
10	変更後番号文字 1	文字列	△	20 (10文字)	変更後の番号文字 1 年度・暦年の更新の場合必須 日々の更新の場合、変更後の番号文字 1、2 のどちらか必須
11	月日表示有無	数値	△	1	番号に月日を表示するかの有無 0: 非表示、1: 表示 日々の場合に使用

					追加・更新の場合必須 例: 番号①0208 番号②1号の1
12	番号文字2	文字列	△	20 (10文字)	番号文字2 日々の場合、番号文字1、2のどちらか必須 例: 番号①0208 番号②1号の1
13	変更後番号文字2	文字列	△	20 (10文字)	変更する番号文字2 日々の更新の場合、変更後番号文字1、2のどちらか必須
14	番号数値	数値	△	5	番号の初期値 追加・更新の場合必須 上限5桁「1」～「99999」を設定可能
15	末尾記号	文字列		2 (1文字)	番号の末尾記号 例: 番号①1号の1 「/」は使用禁止
16	枝番号記号	文字列		2 (1文字)	枝番号の記号 例: 番号①1号の1 「-」、「の」等 マスタテーブルに設定されている項目を設定
17	枝番号数値	数値		1	枝番号の初期値 「1」「2」を設定可能
18	初期表示	数値	△	1	画面表示のデフォルト設定 0: 初期表示しない 1: 初期表示する 2: 変更なし(登録済みの情報を更新しない)
19	部署コードリスト	文字列	△	12299	使用する部署コードをカンマ区切りの文字列で定義 上限: 300 部署(1部署 40文字 * 300 部署)
20	データID	文字列		40	未使用

※1回のリクエストで編集できる上限は100件

※更新時の部署コードは差分ではなく、全てのデータを入力すること。

例1) 部署を追加したい場合

- ・登録時 → 'A課,B課'
- ・更新時 → 'A課,B課,C課'

例2) 部署を削除したい場合

- ・登録時 → 'A課,B課'
- ・更新時 → 'B課'

※更新・削除について

文書管理システムの制約とあわせるため、下記仕様とする。

1. 番号が使用されていない場合

更新：全ての項目が変更可能 変更がない項目でも全てセットする。

削除：可能

2. 番号が使用されている場合

更新：使用開始日・使用終了日・部署・初期値の項目が変更可能

削除：不可

※1回の通信で同一番号の編集は不可能とする。

※枝番号記号の値は文書マスタに登録されている内容を使用すること。

※本 API を実行中に文書管理システムの画面から編集を行わないこと。

※番号数値に大きな値を設定すると、処理に時間がかかるため、タイムアウトが発生する可能性があります。

(2) レスポンス

レスポンスの SOAP メッセージの内容を以下に示す。

表 2. 5-20 SOAP レスポンスの内容

No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明	
1	自治体コード	文字列	○	10	自治体コード	
2	システムコード	文字列	○	10	業務システムコード	
3	ステータスデータ ※繰返し項目					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	シーケンス No	数値	○	3	リクエストで受信したシーケンス No
	2	処理結果 (番号記号単位)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	3	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ
	4	番号文字 1	文字列		10	リクエストで受信した番号文字 1
	5	番号文字 2	文字列		10	リクエストで受信した番号文字 2
	処理結果					
	No.	項目名	データ型	必須	最大長	説明
	1	処理結果 (API 全体)	数値	○	5	処理結果 0 = 正常終了 0 ≠ 異常終了
	2	メッセージ	文字列		500 (250 文字)	エラー時の詳細メッセージ

別紙1 ステータス取得 API 文書ステータスコード一覧

表 別紙1-1 文書ステータスコード一覧

ステータスコード	状態	文書管理システム上の状態	備考
10	收受済	收受済	受付登録 API のみ
20	受付済	受付済	受付登録 API のみ
30	一時保存	一時保存	
40	決裁中	決裁中	
		供覧中	受付登録 API のみ
42	外部システム差戻し中	外部システム差戻し中	業務機能パラメーター一覧にて 差戻しステータス機能有効時のみ
45	決裁完了待ち	最終決裁済み	
50	施行待ち	決裁完了済み	
		施行一時保存	
		公印申請中	
59	施行完了	施行完了	
60	保存待ち	保存待ち	
70	保存済	保存済	
90	廃案	廃案	
99	削除済み(ごみ箱から)	削除済み(ごみ箱から)	受付登録 API のみ
	完全廃案	完全廃案	